

(別紙)

表 3 - 3

脊髄修飾システム：ラットにおける髄腔内注射の効果*

薬剤の種類	実験的疼痛状態 (動物モデル) †			
	急性痛 (ホットプレート、テールフリック)	痛覚過敏	アロディニア	
		(第2相ホルマリン 関節炎)	(髄腔内ストリキネ、 Chung モデル)	神経損傷・痛覚過敏 (Bennett モデル)
アゴニスト				
μ/δ オピオイド	++	++	+/0	++
α ₂	++	++	++	++
NPY	++	++	?	?
κ オピオイド	++	++	0	±
ムスカリン性	++	++	?	?
アデノシン (A1)	+M	+	++	++
GABA-B	+M	+	++	+
アンタゴニスト				
NMDA	+M	++P	++	++
NK1	+M	++P	0	0
酵素阻害剤				
アセチルコリンエステラーゼ阻害剤	+++	?	?	?
NOS 阻害剤	+	++P	?	±
シオキナーゼ阻害剤	0	++P	0	0

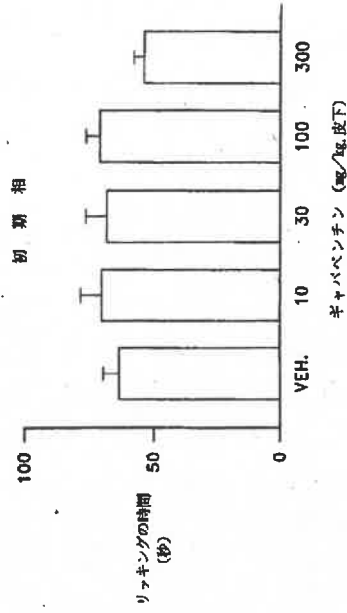
*+, ++, +++, +/0, ±, 0, ?; M, 運動; P, プラトー

†モデルの説明は本文を参照。

(データ元は参考文献 22、Yaksh and Malmberg, 1994 を参照)

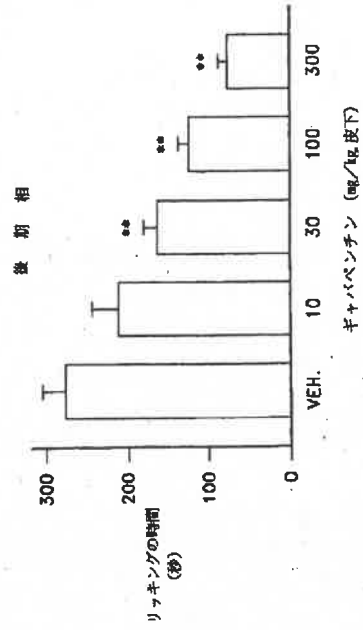
【図 1 a】

FIG-1a ギャバベンチン



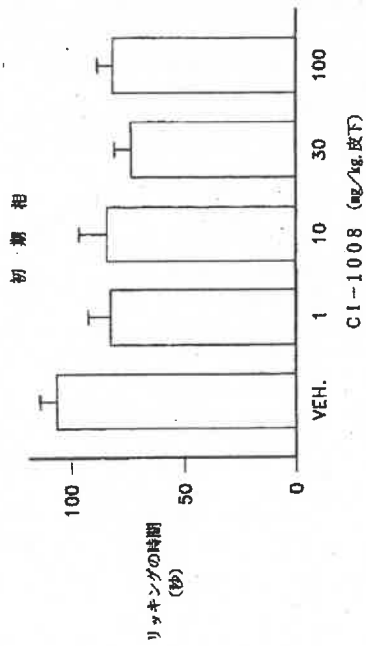
【図 1 b】

FIG-1b ギャバベンチン



【図 1 c】

FIG-1c CI-1008



【図 1 d】

FIG-1d CI-1008

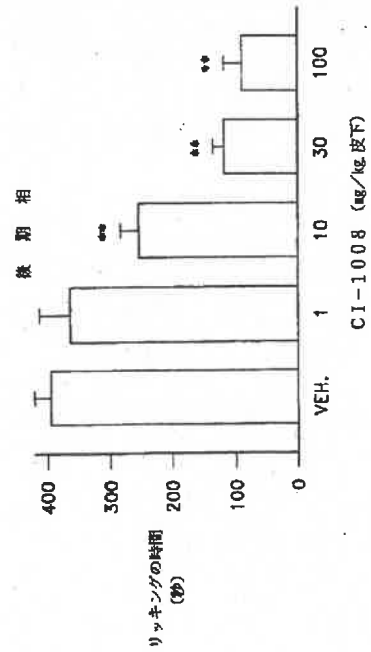
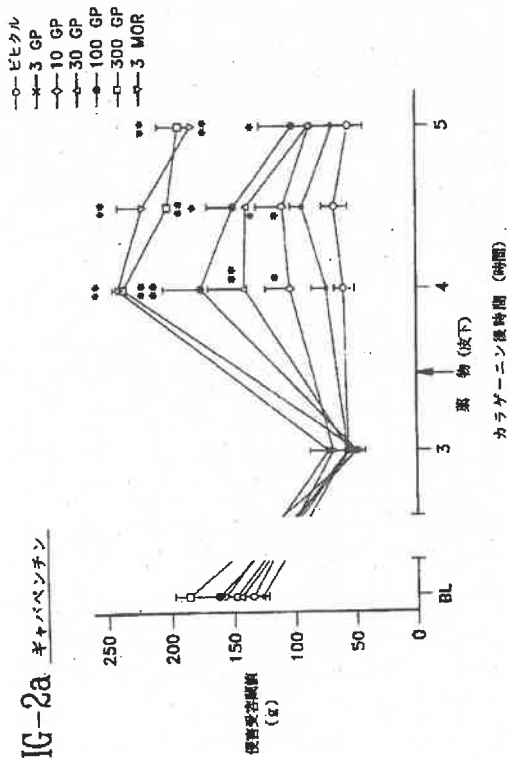


FIG-2a キバペンチン



【 2a】

FIG-1e PD 144550

【 1e】

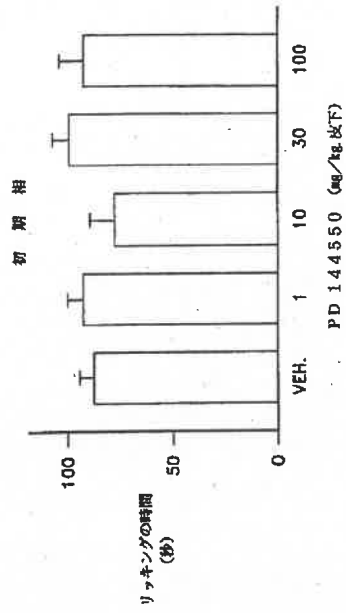
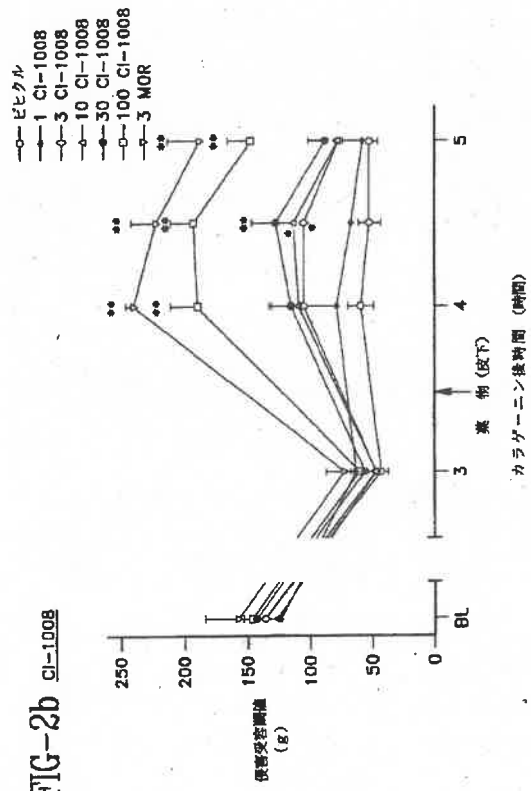
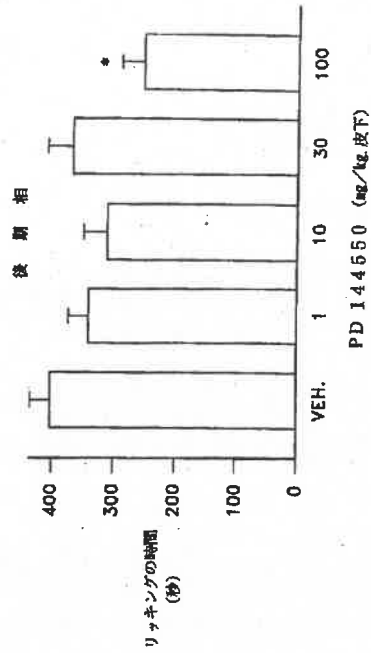


FIG-2b CI-1008

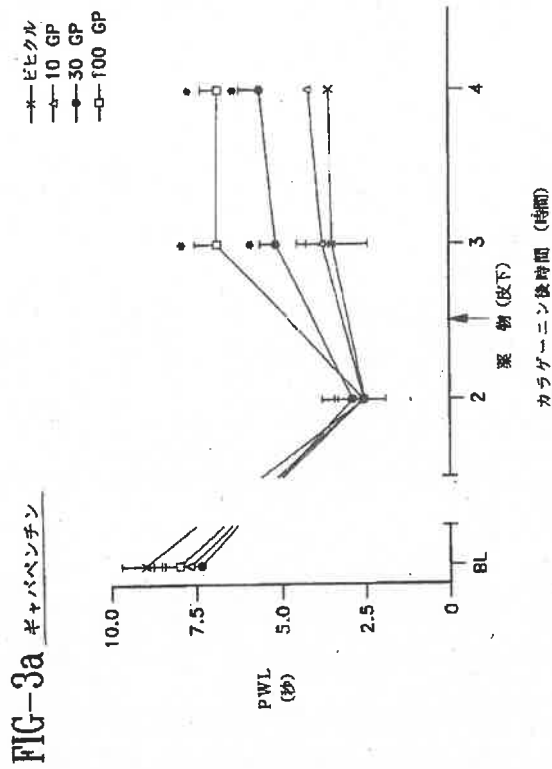


【 2b】

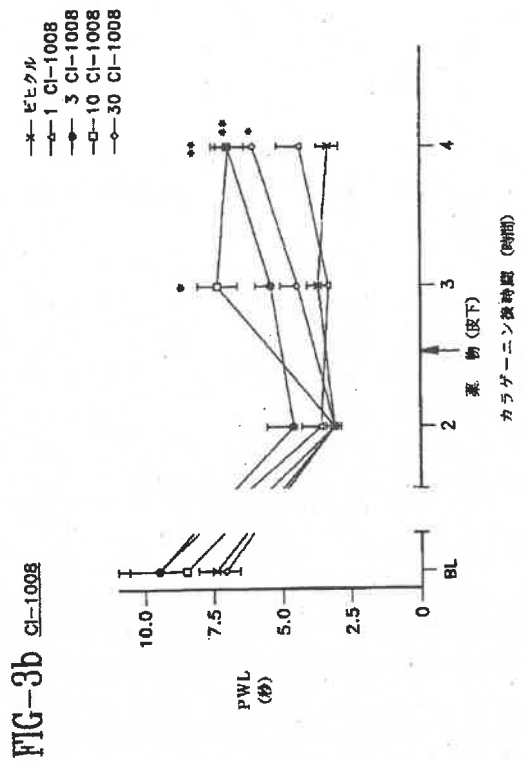
【 1f】



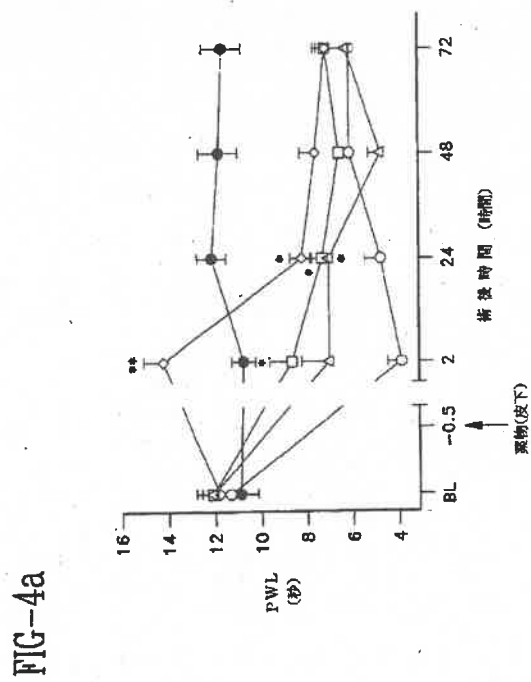
【図 3 a】



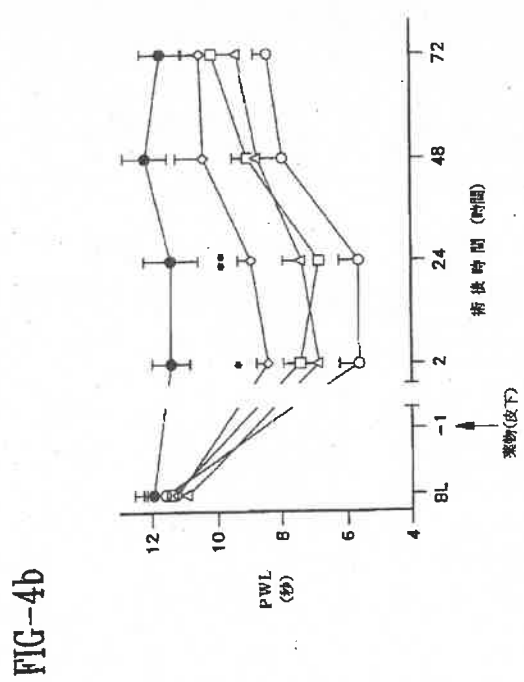
【図 3 b】



【図 4 a】



【図 4 b】



【図 4c】

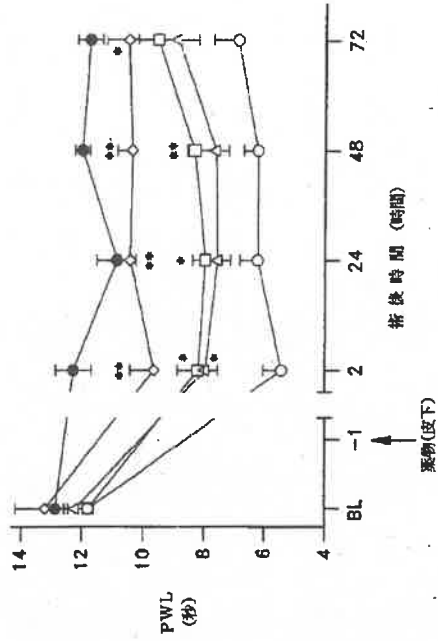


FIG-4c

【図 5a】

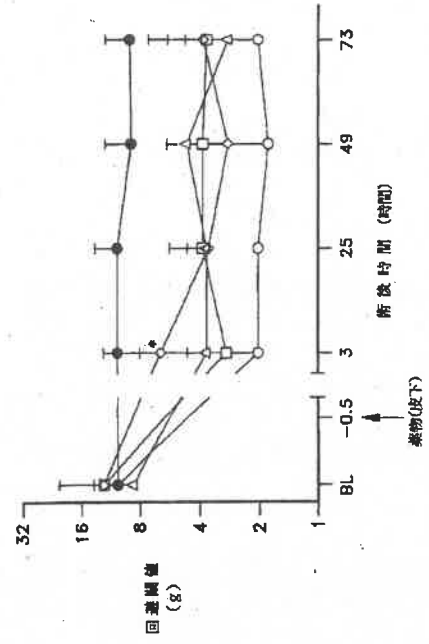


FIG-5a

【図 5b】

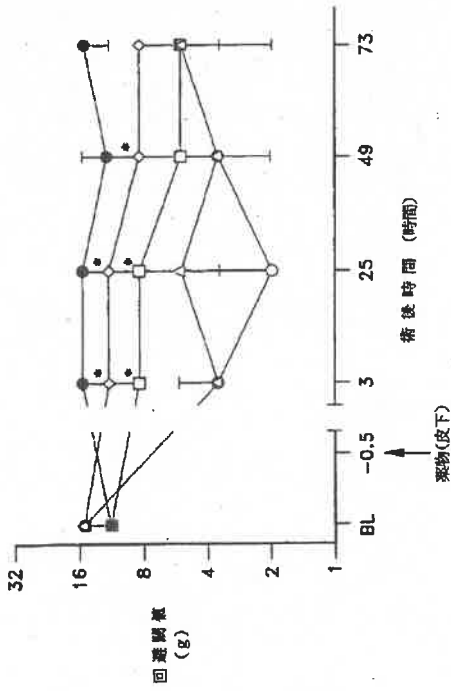


FIG-5b

【図 5c】

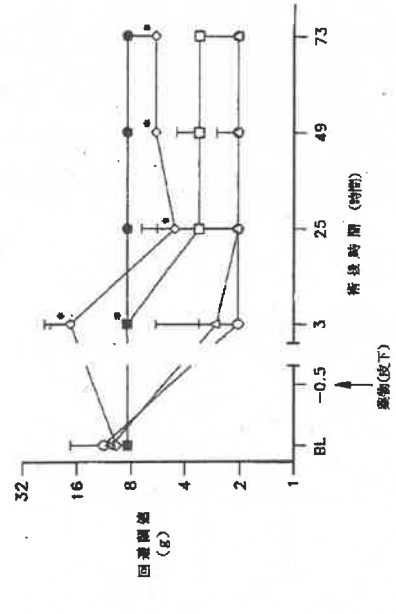
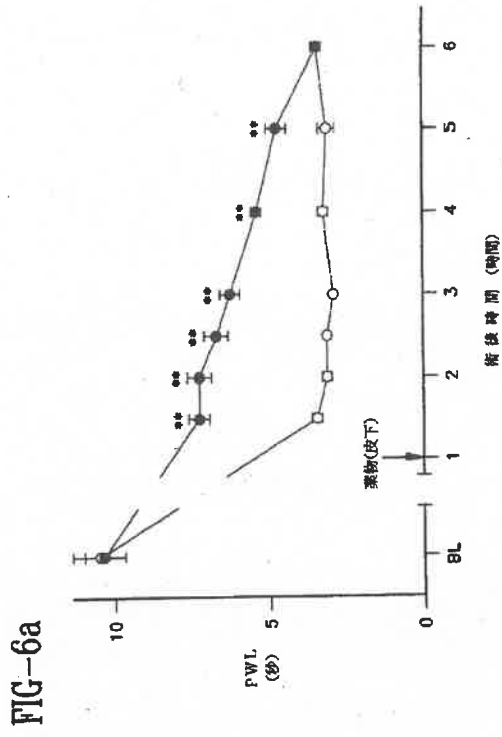


FIG-5c

【図 6a】



【図 6b】

